

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

丹波市長 林 時彦

市町村名 (市町村コード)	丹波市 (28223)
地域名 (地域内農業集落名)	氷上町南御油 (南御油)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和6年10月29日 (第1回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

・当集落は36戸のうち農家戸数は17戸(水稲作付者4名)であり、管内農家と他集落からの認定農業者を含む数名の入作者で集落内の農地管理が行われている。
 ・農地にはパイプラインが導入されており地勢は平坦で好条件な農地であるが、後継者の目途がつかない農業者が多く、今後の農地管理が懸念されている。
 ・山際には獣害防止柵を設置しているうえ必用に応じて個々に電気柵も取り付けられているが、畦道が壊されるなど大きな被害も出てきておりより一層の対策が必要である。また、不在地主等の管理ができていない農地が一部放棄田化しつつあり対策に苦慮している。

(2) 地域における農業の将来の在り方

【該当する項目に☑を記載】
<input type="checkbox"/> ①当地区は水稲を主に、農地の集積・集約化を進める。 <input checked="" type="checkbox"/> ②当地区は水稲を主に、特産の丹波大納言小豆、黒大豆等を拡大し、農地の集積・集約化を進める。 <input checked="" type="checkbox"/> ③地区内外の認定農業者・集落営農組織等に農地の集積・集約化を進める。 <input checked="" type="checkbox"/> ④新規就農者を積極的に受け入れる体制作りを進める。 <input type="checkbox"/> ⑤農作業の効率化を図るため、スマート農業の導入を進める。 <input type="checkbox"/> ⑥施設、果樹等の高収益作物の導入を進める。 <input type="checkbox"/> ⑦農業を担う者への農地の再配分を進めることができるよう必要な条件整備を実施する。 <input checked="" type="checkbox"/> ⑧農地の効率のかつ総合的な利用を図るため貸借相談等を行う部署を設ける。 <input checked="" type="checkbox"/> ⑨多面的機能が維持できる農地管理を行う。(放棄田発生防止) <input type="checkbox"/> ⑩その他()

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	24.7 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	24.7 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積)【任意記載事項】	0.0 ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

【該当する項目に☑を記載】
<input checked="" type="checkbox"/> ①農業振興地域農用地区域内の農地(農振農用地)及びその周辺の農地を農業上の利用が行われる区域のみと位置づける。 <input type="checkbox"/> ②上記、農地を農業上の利用が行われる区域と、林地周辺等にある農地は保全・林地化・放牧・鳥獣緩衝地帯等を行う区域とに位置づける。 <input type="checkbox"/> ③その他()

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1)農用地の集積、集約化の方針	<p style="text-align: right;">【該当する項目に☑を記載】</p> <input checked="" type="checkbox"/> ①農地中間管理機構(農地バンク)を活用して、認定農業者や新規就農者等(担い手)を中心に集積・集約化を進める。 <input type="checkbox"/> ②その他()
(2)農地中間管理機構の活用方針	<p style="text-align: right;">【該当する項目に☑を記載】</p> <input checked="" type="checkbox"/> ①農地中間管理機構を活用して、担い手等の経営意向をくみ取り、段階的に集積・集約化を進める。 <input type="checkbox"/> ②その他()
(3)基盤整備事業への取組方針	<p style="text-align: right;">【該当する項目に☑を記載】</p> <input type="checkbox"/> ①地域のニーズを踏まえ、農地管理の効率化を図るためパイプライン等の基盤整備事業を進める。 <input type="checkbox"/> ②担い手のニーズを踏まえ、農地中間管理機構関連農地整備事業を活用し、農用地の大区画化・汎用化等のための基盤整備を()年度までに実施する。 <input checked="" type="checkbox"/> ③現在、基盤整備事業は考えていない。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組方針	<p style="text-align: right;">【該当する項目に☑を記載】</p> <input checked="" type="checkbox"/> ①関係機関と連携し、地域内外から多様な経営体を募集する。 <input checked="" type="checkbox"/> ②農地の貸し借り、斡旋等の相談から定着までを行う機能を構築する。 <input type="checkbox"/> ③その他()
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針	<p style="text-align: right;">【該当する項目に☑を記載】</p> <input type="checkbox"/> ①水稻栽培に関しては設備投資を抑えるため、地区内の営農組織に依頼する。 <input type="checkbox"/> ②水稻以外の農作業の効率化を図るため、農業支援サービス事業者へ作業委託する。 <input checked="" type="checkbox"/> ③遊休農地の発生を防止するため、作業遅れ等発生する場合は極力農業支援サービス事業者へ作業委託する。 <input type="checkbox"/> ④その他()

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください)

<input checked="" type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input checked="" type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④畑地化・輸出等	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨耕畜連携等	<input type="checkbox"/> ⑩その他

【選択した上記の取組方針】

①鳥獣被害対策としては、山際に侵入防止柵を設置し農会役員等で維持管理を行っている。更に今年より箱罫4個を新たに導入し獣害対策に今後も取り組んでいく。

②入り作の認定農業者等が有機栽培や減農薬栽培に継続して取り組んでいく。

③管内はパイプラインが導入されており、揚水ポンプの更新など農業用施設の維持管理に努めていく。